

令和5年度 中小企業人的資本経営支援事業【大学連携】レポート

公社では、中小企業と大学が連携して、[双方の学び合いの機会を創出](#)する下記の支援を実施しています。令和5年度は、2校の大学と中小企業延べ7社が様々な連携により、取り組みを実施しました。

ワークショップ（大学連携）の開催目的について

1. 中小企業が越境による「学びのシェア」を体験しながら、組織的に「人的資本経営」に取り組みやすい環境を作っていく。
2. 中小企業と大学や企業間におけるネットワーク構築の機会を創出していく。
3. 学生に対して、中小企業に関する興味や関心、知識を得る機会を創出することで、中小企業におけるビジネスの在り方、働くことの意義や理解を醸成していく。

令和5年度の取り組み内容

- ① 中小企業の採用活動に関して学生と企業間で意見交換し、学生が就活者視点でPR策を提案。
- ② 中小企業が新規事業開発プロセスを学生にレクチャーし、学生とともにビジネスモデルの立案を実施。
- ③ 中小企業が学生に向けて自社紹介やキャリア（働くこと）について講演授業を実施。
- ④ 学生が中小企業を訪問し、工場見学により現場を体感するとともに経営者や従業員と意見交換を実施。



参加企業からの声（アンケートより抜粋）

- ・ 自社が若い世代からどのように見えているのか、[何が強みとなっているのかを知る良い機会](#)になった。
- ・ 学生に対して自社の特徴を伝えることの難しさを肌で感じた。[今後の情報発信にあたり有益](#)であった。
- ・ 大学との連携を通じて多くの学びがあった。[社員にとっての育成の場](#)であると理解している。
- ・ 多くの学生が自社に興味や関心を持ってくれた。大きな励みであり、[採用活動のヒント](#)にもなった。
- ・ [大変学びのある貴重な機会](#)であると考えており、積極的に活動した。次年度も宜しく願いたい。
- ・ 学生の発表は、役員会で共有化する。[学生の視点と意見は大変参考](#)になった。
- ・ 会社の困りごとと学生の勉強とのマッチングで、[Win-Winな取り組み](#)である。

